

「組み合わせ」の技法 オランダ社会における ワークライフバランスの実践

講師

中谷 文美 氏 (岡山大学大学院社会文化科学研究科教授)

コメンテーター

青山 薫 氏 (神戸大学大学院国際文化科学研究科准教授)

日時 2012 年 1 月 24 日 (火) 17:30 ~ 19:00 (参加自由・無料)

会場 神戸大学大学院国際文化科学研究科 E 棟 4 階 410 (学術交流ルーム)

概要

ワークライフバランスの先進的実践例として日本でも紹介されることの多いオランダだが、そこで展開されてきた社会政策を EU の枠組みに照らして検討するとともに、オランダ市民が「働くこと」と「生きること」をどのようにとらえてきたか、より望ましいと考える生活のあり方をどのように実現しようとしているかに光を当てる。

とくに、専業主婦率が高く、性別分業が徹底していたオランダ社会において、女性の就労拡大がどのような変化をもたらしたか、個々の夫婦やシングルマザーがどのように職業生活と家庭生活の折り合いをつけているかという点をめぐって、オランダ都市部での人類学的研究に基づく報告を行う。



講師略歴

オックスフォード大学博士課程修了、D.Phil. (社会人類学)。岡山大学大学院社会文化科学研究科教授。専門は文化人類学、ジェンダー研究。主な著書・論文に『女の仕事』のエスノグラフィー ―バリ島の布・儀礼・ジェンダー』(世界思想社、2003 年)、『ジェンダー人類学を読む』(共編著、世界思想社、2007 年)、『From housewives to 'combining women': Part-time work, motherhood, and emancipation in the Netherlands』(『日蘭学会会誌』第 34 巻第 1 号、1-21 頁、2010 年) など。

●会場への交通

阪神「御影」、阪急「六甲」、JR「六甲道」下車。市バス 16 系統「六甲ケーブル下」行きに乗車。「神大国際文化学部前」下車。徒歩 3 分。

※阪急「六甲」より徒歩で 20 分ほどですが、急な坂道ですので、上記バスのご利用をお薦めいたします。

●お問い合わせ (神戸大学大学院国際文化科学研究科)

坂本千代研究室 TEL: 078-803-7425 E-Mail: csakamot@kobe-u.ac.jp
異文化研究交流センター TEL: 078-803-7650 E-Mail: irec@ccs-srv.cla.kobe-u.ac.jp
(IReC) Web: <http://web.cla.kobe-u.ac.jp/group/IReC>

